

「あかつき」の金星到着迫る！ みんなで金星を観察しよう!!

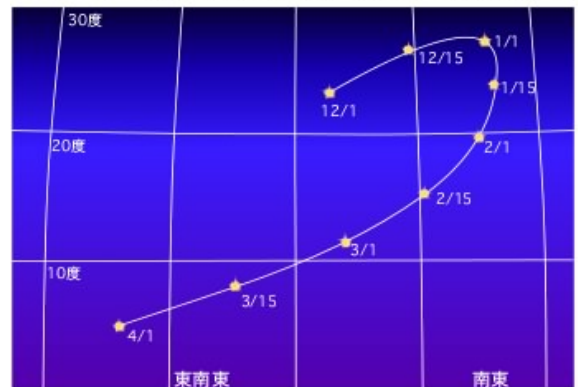
金星探査機「あかつき」は現在、12月7日の金星周回軌道投入を目指して順調に飛行中です。この「あかつき」を直接見ることはできませんが、金星到着前後の期間、金星を「明けの明星」として見るすることができます。望遠鏡を使えば昼間の観察も可能です。そこで日本天文協議会では、12月3日(金)から12日(日)まで、金星キャンペーン「あかつきの金星を見よう!」を開催します。「あかつき」がさまざまな謎を解き明かそうとしている金星の姿を、お近くの科学館・博物館や公開天文台などでぜひご覧ください。

あかつきくんが きんせいちゃんに突撃インタビュー! 「金星のみかた」Q&A

きんせいちゃんはいつ頃、どんな方角でみえるの?

金星は地球に最も近づく惑星なので、とても明るい輝きの星として観察できるのよ。金星は地球よりも太陽に近いところにあり、地球から金星の方を見ると、いつも近くに太陽があるの。だから、太陽が昇る前の明け方の東の空か、沈んだ後の夕方西の空にしか見ることができないのよ。右の図は、2010年12月から2011年3月までの日の出1時間前に、金星がどこにあるのかを示した図。2010年11月後半より金星が明け方に見え始めます。12月から1月にかけては、日の出前に金星の高度が高くなるので、とっても良く見えるわよ。

2010年12月から2011年3月までの金星の位置 (日の出1時間前)



どうして明け方か夕方にしか見えないの?

金星は地球の公転軌道の内側を回っているため、夜中に見えることはないの。太陽を中心に、一定の角度で行ったり来たりするように見えるため、金星は、明け方か夕方にだけ見ることができるの。太陽が昇る前(明け方)に東の空に明るく輝く星(金星)を「明けの明星」、太陽が沈んだ後(日没後)に西の空に明るく輝く星(金星)を「宵の明星」と呼んでいるの。

太陽の左(東)側にあるときは、太陽が沈んだ後に見える「宵の明星」となります

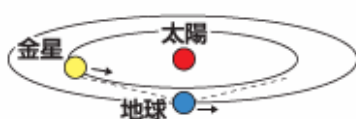


図1. 宵の明星

太陽の右(西)側にあるときは、太陽が昇る前に見える「明けの明星」となります

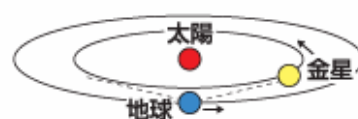


図2. 明けの明星



詳しくは「金星キャンペーン」ウェブサイトまで! <http://akatsukikun.net/>